

2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 1 月 25 日作成)

小委員会名	JASS10 改定小委員会	主 査 名：梶田 佳寛 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (鉄筋コンクリート工事運営委員会)	委員長名：本橋 健司 主 査 名：阿部 道彦
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>(設置目的) JASS 10は、1965年に制定されて以来、1972年、1978年、1991年および2003年とおよそ10年おきに改定されてきた。プレキャスト鉄筋コンクリート工事に関しては、2003年の改定のあと、さらに高強度化が進み、技術の現状に対応するため改定小委員会を設置して2012年度を目途に改定作業を行う。</p> <p>(各年度活動計画) 2009年度～2012年度にかけて、2003年版JASS 10の問題点の抽出、プレキャスト鉄筋コンクリート工事に関する研究・技術開発の動向を調査し、法令・基準との整合を図り、本文・解説案を検討し、2012年度中に完成させる。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無： 無 梶田佳寛 (宇都宮大学)、鹿毛忠継 (建築研究所)、杉山央 (宇都宮大学)、早川光敬 (東京工芸大学)、飯塚正義 (プレハブ建築協会)、石川伸介 (安藤建設)、遠藤寛 (鴻池組)、川村敏規 (三井プレコン)、河村光昭 (清水建設)、橋高義典 (首都大学東京)、木村匡 (UR都市機構)、小島正明 (竹中工務店)、佐藤幸恵 (東京大学)、陣内浩 (大成建設)、中澤春生 (清水建設)、中田善久 (日本大学) : WGの委員を含む	
設置 WG (WG 名 : 目的)	品質・調合WG : プレキャストコンクリートの要求品質・調合・製造法について専門委員を集めて検討する。 組立・接合WG : プレキャスト鉄筋コンクリート部材の現場における組立ておよび接合法について、専門委員を集めて検討する。 一般事項WG : プレキャスト鉄筋コンクリート造における構造体の要求性能、耐久設計基準強度について、専門委員を集めて検討する。	
2012 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無：無し 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. 建築工事標準仕様書・同解説 JASS 10 プレキャスト鉄筋コンクリート工事
講習会	1. 「建築工事標準仕様書・同解説 JASS 10 プレキャスト鉄筋コンクリート工事」改定講習会 参加者数 199 名 (東京)、 69 名 (大阪)
催し物 (シンポジウム・セミナー等*能力開発支援事業委員会承認企画)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 当初の予定より若干遅れたが、11 月中に JASS 10 改定作業を終了した。 2. 当初の予定どおり、2013 年版 JASS 10 を作成した。 3. 1 月 23 日 (東京)、30 日 (大阪) にて改定講習会を実施した。 なお、2013 年 6 月 19 日 (東京) に、追加講習会の開催を予定している。
委員会活動の問題点・課題	1. プレキャストコンクリート工事の実務に精通した学識経験者が少ない。 2. 改定作業終了後、校正にかなりの時間を費やした。そのため、委員会開催にあたっては、明確な目標設定を行ってから実施すべきと考える。 3. 実験等によるデータの収集が必要であったと考える。研究費等の問題もある。